教科	地歴	科目	日本史探究	単位	4 単位

1.　教科書および副教材・参考書

教科書　:『詳説日本史探究』(山川出版社)

テキスト:『ゼミナール日本史』(浜島書店)

図説　　:『山川詳説日本史』(山川出版社)

2.　授業の目標および内容

本授業では、日本史を通じて過去の事例から学び未来へ活かす姿勢を学びます。歴史学習は“大学受験のための教科”と捉えられ、単純暗記をすることが「歴史を勉強した」と考えられがちですが、決してそうではありません。昨今の大学入試改革において「思考力・判断力・表現力」が求められるということも、これを裏付けるものでしょう。したがって、本授業では、学んだ知識を活かして一歩踏み込んで考える活動を通じて「思考力・判断力・表現力」を養うことを目標とします。また、適宜テキストを活用し問題演習などを行うことで、大学受験に対応できる基礎・基本を身に着けていきます。

なお、進学クラスと特進クラスで授業進度を変え、特進クラスは長期休暇中などにおいて動画を活用した迅速な通史履修を行い、大学入試における一般選抜で戦える学力を身に着けることも目標の一つとして設定します。

3.　試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次　5 月	二次　7 月	一次　10 月	二次　12 月	期末　3 月
学力試験			第 1 回　9 月		第 2 回　1 月

4.　内容・難易度について

①定期試験：100 点満点で出題

授業内容を中心に出題しますが、大学入試改革に対応するような形で初見史料やグラフなどを用いた問題も出題するとともに、記述・論述問題も出題します。

②学力試験：　地歴公民科として 100 点満点のうち、日本史 B は 50 点分を出題します。

5.　課題・補習について

授業内容に対応して、適宜出題します。

6.　評価の視点

定期試験の点数を基準に、平常点を総合的に判断して評価します。

7.　年間授業計画(進学クラス)

学期	単元	学習内容	備考
1	第１章　日本文化の あけぼの 第２章　古墳とヤマト政権 第３章　律令国家の形成	1　文化の始まり 2　農耕社会の成立 1　古墳文化の展開 2　飛鳥の朝廷 1　律令国家への道 2　平城京の時代 3　律令国家の文化 4　律令国家の変容	日本史における時代区分からスタートし、原始から平安時代初期までを、主として天皇を中心にまとめ理解を深めます。
2	第４章　貴族政治の展開 第５章　院政と武士の躍進	1　摂関政治 2　国風文化 3　地方政治の展開と武士 1　院政の始まり 2　院政と平氏政権	天皇・朝廷中心の歴史から、武家という新しい勢力が台頭していく様子や武家社会の特徴などに主眼を置いて理解していきます。
3	第６章　武家政権の成立 第７章　武家社会の成長	1　鎌倉幕府の成立 2　武士の社会 3　モンゴルの襲来と幕府の衰退 4　鎌倉文化 1　室町幕府の成立 2　幕府の衰退と庶民の台頭 3　室町文化 4　戦国大名の台頭	日本初の武家政権である鎌倉幕府と続く室町幕府の特性を捉えながら、中世社会の特色を捉えられるようにしていきます。

8. 年間授業計画(特進クラス)

学期	単元	学習内容	備考
1	第１章　日本文化のあけぼの 第２章　古墳とヤマト政権 第３章　律令国家の形成 第４章　貴族政治の展開 第５章　院政と武士の躍進	1　文化の始まり 2　農耕社会の成立 1　古墳文化の展開 2　飛鳥の朝廷 1　律令国家への道 2　平城京の時代 3　律令国家の文化 4　律令国家の変容 1　摂関政治 2　国風文化 3　地方政治の展開と武士 1　院政の始まり 2　院政と平氏政権	日本史における時代区分からスタートし、原始から平安時代までを、主として天皇を中心にまとめ理解を深めます。天皇・朝廷中心の歴史から、武家という新しい勢力が台頭していく様子や武家社会の特徴などに主眼を置いて理解していきます。
2	第６章　武家政権の成立 第７章　武家社会の成長 第８章　近世の幕開け	1　鎌倉幕府の成立 2　武士の社会 3　モンゴルの襲来と幕府の衰退 4　鎌倉文化 1　室町幕府の成立 2　幕府の衰退と庶民の台頭 3　室町文化 4　戦国大名の台頭 1　織豊政権 2　桃山文化	日本初の武家政権である鎌倉幕府と続く室町幕府の特性を捉えながら、中世社会の特色を捉えられるようにしていきます。
3	第９章　幕藩体制の成立と展開 第10章　幕藩体制の動揺	1　幕藩体制の成立 2　幕藩社会の構造 3　幕政の安定 4　経済の発展 5　元禄文化 1　幕政の改革 2　宝暦・天明期の文化 3　幕府の衰退と近代化への道 4　化政文化	中世の武家政権と近世の武家政権の違いを捉えつつ、江戸幕府の基本構造を具に理解しながら武家社会の特徴や将軍ごとの政治を理解していきます。